

# 学道一如

発行  
小樽双葉高校  
新聞部  
2026年4月21日  
第6号

リスニングの力伸びたと実感  
日本の伝統文化の価値を再認識  
下瀬雅珠さん、長谷川心菜さん、間宮さくらさん(3ー)



サウスパーリントン  
高校派遣プログラム  
(4)



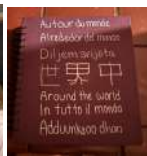
エレノワ、長谷川さん、ジョージー、下瀬さん



ソフィア、間宮さくらさん



お別れ会でエレノワから長谷川さんへ



手作りのアルバムが手渡された。



ボストン美術館



ベネチア建築の中庭



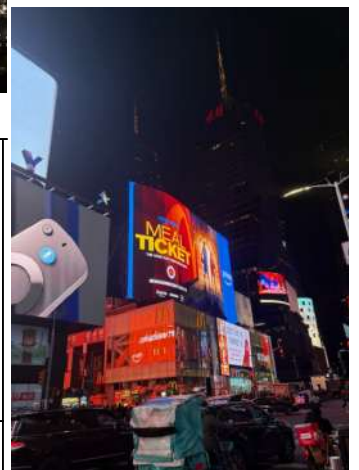
犬のお散歩



一緒に作ったアップルパイ



ニューヨークの夜景(下瀬さん)



マンハッタン、タイムズスクエア周辺



間宮さんのホストファミリー



シャンプレーン湖で

プレゼンは「福笑い」を披露。ピカチュウ、おさるのジョージ、ミッキーマウス、マリオ、スポンジジボブを使用。

## 英語の力伸びた

下瀬雅珠さん(3ー)

下瀬雅珠さんは両親、ジョージー(高1、大人しく優しい)、兄(高3)、犬(ムース)のいる家庭にステイした。家はシャンプレーン湖の真ん中にあった。

休日にはホストファミリーと片道6時間かけて2泊3日でニューヨークに行ってきた(写真上・右)。

美味しいと思ったのは高校の食堂で食べた骨付きチキン。高校の授業中に飲食や私語を平気にするのを見て、明るくて良いが、日本の授業風景の方が良いと思ったという。このプログラムで英語のリスニング力が伸びたと実感している。

## 手作りのアルバムもろう

長谷川心菜さん(3ー)

長谷川心菜さんは両親、エレノワ(高1、明るく優しい、話し好き)、弟レオ(11歳)、犬(ジャック)、猫(フルート)ニワトリ15匹のいる家庭にステイした。「ホストファミリーはゆっくり話してくれるけれど、だんだん速くなっていくので、それに追いつこうと頑張っていた」という。

エレノワさんは学校への送迎はもとより、自ら運転して、ボストンの美術館などを案内してくれた。また、お別れ会では手作りのアルバムをプレゼントしてくれた(2段目写真)。

美味しかったのはタコス。タコスデー(火曜日)に出してくれた。下瀬さんもタコスを食べたという。長谷川さんは「アメリカはとにかく全て大きい。話し声が大きい」と印象を述べてくれた。

## 明確な意思表示が大事

間宮さくらさん(3ー)

間宮さくらさんは両親、ソフィア(高3、明るく優しい)、妹グレイス(高1)、エミリー(小学生)、犬(ウーパー)、ウサギ2匹(ポポ、ポピー)の家庭にステイした。

「ホストファミリーの出してくれたものが美味しかった。特にトマトベースのアジア風スープ(写真右)をもう一度食べた。レストランで食べたジャガイモとベーコン、ホワイトトーストとオムレツも美味でした(写真左)。」

フローレンス家によく集まり、カラオケパーティーをした。チャリチストリートやマーケットプレイス(歩行者天国のショッピングモール)に出かけた。

「米国では明確な意思表示が大切であることを身をもって知った。日本の伝統文化(書道、茶道、折り紙)はアメリカでも評判が良かった」という。